

「洞海湾海開き！」に合わせた 洞海湾横断遠泳大会

— 洞海湾を竹筏^{たけいかだ}で渡る — 開催!

主催：(社)北九州青年会議所 協力：NPO 法人北九州ピオトープ・ネットワーク研究会ほか



快調に泳ぐスイマー達

安全確保のため出勤し挑戦者を見守る

福岡県警察北九州水上警察署の船舶「かざし」(写真後)

して行こうと試みるなか、今回の「洞海湾海開き」を開催した。今後、この洞海湾という母なる海が北九州を担い、新しい北九州を創っていく観光のシンボルとなるように、皆で協力していきましょ

う」と挨拶を行った。

今回の催しを企画した(社)北九州青年会議所の廣石敏文環境ブランド推進委員会委員長は、「北九州市は、環境をキーワードとした町づくりを行っている。また、北九州市が環境先進都市として認められたのは「洞海湾」が死の海から命を育む海へ



洞海湾を北九州のシンボル
にと語る 廣石委員長



風に流されながらもパドル操作は力強く

復活したことが一つの原因であり、それが海外でも評価されているその「洞海湾」を北九州市のシンボル(環境ブランド)にして行くことに今後つなげて行きたいと思う。

また、今回様々な団体の方々に御協力して頂きました。各方面の方に感謝しています」と語った。

副委員長の平原 潤氏は、「我々が環境ブランド委員会を立ち上げたのは、今年の1月です。そこから、北九州市が環境都市を目指し

(社)北九州青年会議所および NPO 法人北九州ピオトープ・ネットワークでは、去る7月17日(海の日)、北九州市の「洞海湾海開き」にあわせて、「洞海湾を竹筏で渡ろう」「洞海湾横断遠泳大会」と題した催しを行うとともに環境ミュージアムによる「出張環境ミュージアム」「洞海湾清掃活動」および「フリーマーケット」を開催した。

開催に先立ち久岡貴弘(社)北九州青年会議所理事長は、「北九州というこの100万都市を生き育ててくれた「洞海湾」というこの母なる海が過って汚され、また綺麗になったという歴史を、これからは「環境都市北九州」のシンボルであると位置付け、

この洞海湾を素敵な観光資源と



環境都市北九州のシンボルは
「洞海湾」であると熱く語る
久岡理事長



「復興のモニュメント」が
必要と語る平原副委員長

ていることについての勉強会を始めた。そこで、突き詰めて行くとやはり“死の海 洞海湾”が再生され“七色の煙り”といわれた公害問題をクリアできたことが評価された。この事実を象徴するモニュメント的な復興のシンボルとして“洞海湾”を世界にアピールすることが“環境首都”になるために必要なのではないかという思いから、今回“洞海湾”にスポットをあてた事業を行った」と語った。



航路の安全のため出動した
海上保安庁の巡視艇「もくれん」

フリーマーケットを主催した NPO 法人 まちのカルシウム工房の竹内裕二理事長は、「洞海湾周辺は、これからは賑わい創りの中心になってくると思います。そこで今回 JC の方からの働きかけで一つのイベントを組み、フリーマーケットを成功させたいとの熱意に、我々も協力しようと思い皆さんに来て頂いた」と語った。

環境ミュージアムの“出張環境学習教室”を企画した(社)北九州青年会議所の平川浩太郎氏は、「“洞海湾”は、かつては家庭排水や工場廃水ほかによって非常に汚染され、それが今では綺麗になった。その“洞海湾”のそばでアピールしたかった。そして、今まで以上にこの湾が綺麗になるという思いを込めて環境ミュージアムの方に出張して頂いて“環境学習教室”を開いた」と語った。

環境学習教室を受講した家族連れは、「少しでも子供たちがゴミを捨てない、また、家で使っている水を大切にするなど、そういうことを感じて欲しかった。また、それを教えるのが親の努めだと思う」と受講後の感想を述べた。

ちげいぬが
竹筏で洞海湾を横断した北九州市立大学の学生は、「筏でこのようなことをしたことはないが、今は充実感に充ちています」と感想を述べた。



綺麗になった洞海湾の側で「環境学習教室」を開きたかったと語る 平川氏

洞海湾遠泳において完泳を果たした“玄海トライアスロンクラブ”所属で最年長の篠川さん(72歳)は、「洞海湾を泳いで渡りたいという思いで泳ぎ、もう少し汚れていると思ったが、思ったほど汚れていなかった」と感想を語った。

また、同じく完泳した“ウイングス トライアスロン クラブ”所属の瀧井さんは、「洞海湾は、思ったより綺麗で、気持ちよく泳げました」とさわやかに語った。

また、同じく完泳した“ウイングス トライアスロン クラブ”所属の瀧井さんは、「洞海湾は、思ったより綺麗で、気持ちよく泳げました」とさわやかに語った。



参加者全員による洞海湾清掃活動

なお、完泳者全員に、「完泳証書」の授与が“エスカル戸畑海員会館”において行われた。



「完泳証書」を授与する久岡理事長
(エスカル戸畑海員会館)



「環境ミュージアム」による出張学習教室



環境学習の後「ゴミをできるだけ出さないように」と感想を述べる、家族連れ



若戸大橋をバックにフリーマーケットも賑わう